

株主のみなさまへ

# BUSINESS REPORT

第118期 報告書 平成23年4月1日～平成24年3月31日

## Contents

- 新製品ニュース
- 株主のみなさまへ
- 新社長メッセージ
- 特集 | 創業100周年を迎えて
- 連結財務諸表
- 役員
- 株式の状況・株価の推移
- 会社の概要・株主メモ
- 株式に関するお手続きについて
- 株主様工場見学会について

100<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

シャープは、  
おかげさまで2012年9月15日  
創業100周年を迎えます。

## 新製品ニュース

### New product 01

「癒し」&「安眠サポート」 さくら色LED照明誕生  
(寒色～暖色への切替可能)



※写真はイメージです。

さわやかな「寒色系」、くつろぎの「暖色系」に加えて、気持ち  
が癒され、安眠をサポートする新しい明かりの色「さくら色」を  
シーリングライトで実現。今までにないやわらかな雰囲気  
が楽しめます。

※このさくら色LED照明の使用により、精神的ストレスの予防・治療などの効果や  
睡眠の質の改善を保証するものではありません。

LEDシーリングライト(調光・調色モデル)  
DL-C604V(～14畳用) オープン価格

さくら色2・ソメイヨシノ  
点灯時



●DL-C504V(～12畳用)、DL-C304V(～8畳用)もあります。

### New product 02

プロが認めた! しなやかな仕上がり、なめらかな指通り!  
プラズマクラスタードライヤー

⊕と⊖のイオンでやさしくコンディショニング。プラズマクラスター  
による保湿・静電気抑制効果で、ドライしながらヘアケアできます。



### New product 03

大画面80V型液晶パネル搭載  
迫力と美しさが違う、新時代のリビングテレビ誕生

40V型の約4倍の表示面積(画面サイズ:横177.1cm×縦  
99.6cm)を持つ迫力の画面。約3mの視聴距離で、ハイビジョン  
放送を臨場感豊かに楽しめます。



地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ  
80V型 LC-80GL7 オープン価格

壁掛け金具(別売) /  
工事等が必要です。

# SHARP

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素の格別のご厚情に対し、心からお礼申し上げます。

すでにご高承のとおり、当社は本年4月1日付にて新たな経営体制をスタートさせました。この経営体制のもと、財務体質の改善やビジネスモデルの変革を推し進め、業績の回復と経営基盤の強化に邁進してまいります。

第118期の業績及び今後の取り組みについてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に景気持ち直しの動きが見られたものの、円高基調の為替推移や、デフレの進行、さらには電力等のエネルギー供給問題等、極めて厳しい情勢が続きました。一方、海外経済についても、欧州債務問題の域内外への波及や、中国・新興国の成長鈍化など、不透明感の強い状況下で推移しました。

こうした中、当社グループでは、先進技術を駆使したデバイスと特長商品の創出に取り組みとともに、部材調達から生産、販売までを消費地で完結させる地産地消を推進し、国際競争力の強化を進めました。また、液晶や太陽電池事業の構造改革に加え、全社にわたるコストダウンと経費削減を徹底推進し、経営体質の強化にも努めました。

しかしながら、当連結会計年度の業績は、国内液晶テレビ市場における需要の急減、大型液晶パネルの需給悪化、商品及びデバイスの大幅な価格下落等の影響もあり、売上高は、前年度に比べ18.7%減の2兆4,558億円となりました。また、利益に

つきましても、誠に遺憾ながら、営業損益が、375億円の損失、経常損益は、654億円の損失となり、当期純損益は、大型液晶操業損失のほか、液晶事業の構造改革に伴う体質改善費用等の特別損失1,859億円の計上や、税制改正と業績悪化に伴う繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額を1,155億円計上したことから、3,760億円の損失となりました。

今後につきましては、厳しい経済情勢と事業環境に対処すべく、新たな経営体制のもと、部門間の垣根の撤廃による情報流通の強化と組織の統合による意思決定の迅速化を図り、継続的なオンリーワンデバイス・商品の創出と事業構造改革へ取り組んでまいります。

「モバイル液晶」では、スマートフォンやタブレット端末向けに亀山工場のライン転換を推し進め、薄型、高精細、低消費電力等の特長を有する酸化亜鉛半導体 (IGZO<sup>\*1</sup>) 採用<sup>\*2</sup>のモバイル端末向け液晶を本格的に量産展開するとともに、IGZO液晶の用途拡大と応用商品の創出を図ります。

また、安定成長事業である「健康・環境機器」では、プラズマクラスター技術搭載商品の拡充とグローバル展開を強化するとともに、冷蔵庫・洗濯機の新工場をインドネシアに建設し、アジアでの生産能力を増強する等、今後の拡大が期待される市場での事業拡大に取り組めます。

「情報機器」では、既存のドキュメント事業に加え、電子黒板やマルチディスプレイ等の新規商材の投入により、新たなソリューション事業の展開を進めてまいります。

一方、構造改革を進める「大型液晶」では、電子機器受託サービス世界最大手である鴻海(ホンハイ)グループとの「戦略的グローバル・パートナーシップの構築」に向け、鴻海グループへの第三者割当増資、及び大型液晶の基幹工場である「シャープディスプレイプロダクト株式会社(以下SDP)の株式一部譲渡」、次いで、「凸版印刷株式会社、大日本印刷株式会社の堺工場における液晶カラーフィルター事業のSDPへの統合」に合意しました。これにより、液晶パネルと液晶カラーフィルター事業の一体運営による「生産プロセスの高効率化」と、「バリューチェーン全体を通じた付加価値の取り込み」を行い、堺工場の操業安定とコスト競争力の強化を実現してまいります。

なお、鴻海グループとの提携については、競争の激しいデジタル商品分野を中心に、両社の強みを活かしたシナジー効果を追求し、世界で戦えるグローバル垂直統合と国際競争力の増強に取り組んでいく所存です。

また、「太陽電池」では、国内の「再生可能エネルギー特措法」に基づき、本年7月に施行される電力の全量買い取り制度により、今後の急速な市場拡大が期待されるメガソーラーや発電事業の取り組みを強化します。海外では、グローバルレベルでの材料調達と生産の最適化を図り、発電事業を含む「川下領域でのビジネス強化」を推し進め、事業構造と収益構造の転換を進めてまいります。

これら取り組みに加えて、全社にわたる「緊急経営対策」として、海外事業や、モバイル液晶、太陽電池、B to Bビジネス等の成長分野や新規事業分野の体制強化に向けた人員シフトを展開し、



取締役会長 片山 幹雄  
取締役社長 奥田 隆司

徹底した総経費の削減や在庫低減等による「財務体質の改善」に取り組み、全社あげて、業績と信頼の回復に努めてまいります。

何卒、当社のこうした経営方針に深いご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

※1 In(インジウム)、Ga(ガリウム)、Zn(亜鉛)から構成される酸化物  
※2 酸化物半導体を用いた薄膜トランジスタを株式会社半導体エネルギー研究所と共同開発

## 新社長メッセージ



取締役社長  
奥田 隆司

### オンリーワン商品創出に ひたむきに挑み、 新たな市場の創造に全力で邁進

このたび、片山社長(現会長)の後を継ぎ、社長に就任いたしました。エレクトロニクス業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、社業のさらなる発展と、これからの新たな100年の歴史づくりへ向け、努力してまいりたいと存じます。

創業以来、100年間当社が変わることなくめざしてきたのは、他にない独創的な商品により常に新たな市場を創造し、お客様に

「驚き」と「感動」をご提供することを通じて、社会に貢献する企業であり続けることでした。

社長就任にあたり、あらためて思いましたことは、経営信条の「誠意と創意」にある「創意」をさらに磨き上げていかなければならないということでした。

そのためには、「創意の遺伝子」を受け継ぎ、デバイスと商品のスパイラル戦略を再び活性化させることで、数多くのオンリーワン商品を世界中のマーケットにスピードを上げて投入していきたいと心を新たにしております。

2012年9月、当社グループは創業100周年を迎えます。これまでも関東大震災や終戦後の財政金融引き締め、さらには

プラザ合意後の円高など、幾度も困難に直面してきました。しかし、そのたびに世の中になかった新しい商品、技術の創出にひたむきに挑戦し、危機を乗り越えてまいりました。

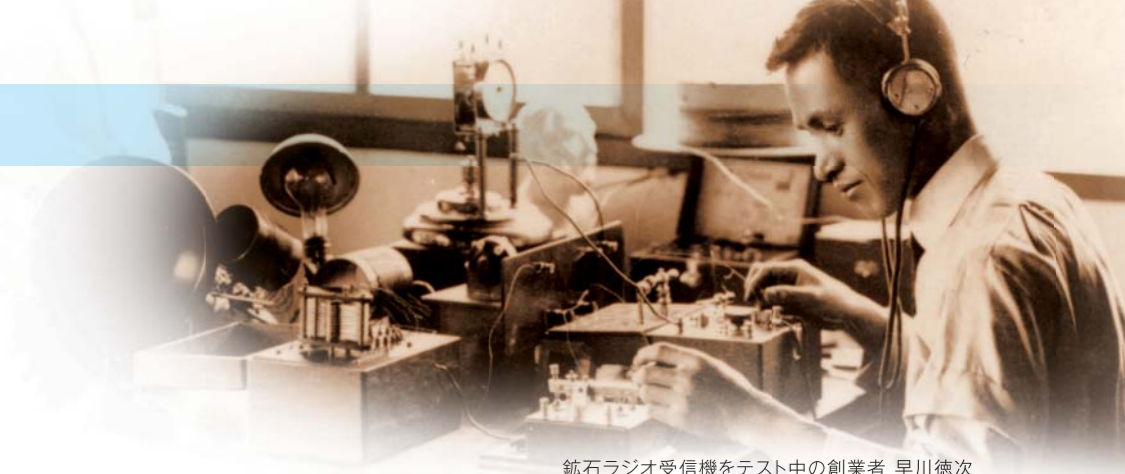
厳しい経営環境にありますが、これからも当社は選択と集中を進める一方、ひるまず挑戦を続け、「誠意と創意」の経営信条のもと、お客様の目線を見極めた、魅力あふれるオンリーワン商品やサービスをご提供し、新たな100年へ邁進していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## オンリーワン商品創出の足跡をたどる

当社は、早川徳次が1912年に東京で金属加工業として創業して以来、確かな技術と創意工夫で世の中になかった新しい商品を創り出すことで、人々の生活の向上と社会の発展に貢献してきました。

オンリーワン技術に裏付けられた数多くのヒット商品を生み出してきましたが、厳しい事業環境下、世界の市場で戦うため、自社の垂直統合モデルだけでなく、国内外の特長ある企業と協業して新しい垂直統合モデルを創出し、グローバルに通用するオンリーワン商品を生み出してきました。



鉱石ラジオ受信機をテスト中の創業者 早川徳次



「他社にマネされるような商品をつくれ」と常に社員を激励していました。

創業者  
**早川 徳次**  
(1893年~1980年)



### シャープペンシル

当時の壊れやすいセルロイド製の筆記具を、得意の金属加工技術と独自機構で大ヒット商品にしました。

## 名実ともに総合家電メーカーへ

高度経済成長のもと、「夢の家庭電化生活」が一気に花開きました。白物家電分野でも当社は、独自の商品、業界初の新製品を次々と生み出してきました。中でも、井戸水を利用した水冷式ルームクーラーや煙が出ない魚焼器キッチンロースターなどがヒットし、話題を集めました。



### 電子レンジを量産

「火を使わない夢の調理器」として話題を集めました。

## さらに総合エレクトロニクスメーカーへ



世界初のオールトランジスタ電卓(1964年)



世界初の液晶表示ポケット電卓(1973年)

「八百屋の奥さんに使ってもらえる電子ソロバンをめざせ」を合言葉に小型軽量化を進めていきました。

電卓の小型軽量化を進める途上で、半導体、液晶、太陽電池などの技術革新を起こします。これらの技術は、デジタル機器の基盤技術となり、「産業の光」や「電子の紙」として、エレクトロニクス産業の発展に大きく貢献しました。

## 生活を変える商品が次々と誕生!

ニューファミリー世代を中心にした生活の価値観に合う商品づくりをすすめ、新しい生活の仕方(ライフスタイル)を提案するニューライフ商品を次々にデビューさせていきました。

これからもオンリーワン技術により、これまでにない商品を創出し、世界の人々の生活をよりよいものにしてまいります。

1912

1915

1923

1925

1953

1962

1963

1964

1976

2000

2012



### ベルトのバックル「徳尾錠」

活動写真で登場人物のベルトの先がだらしく垂れているのが気になり、考案したもので、創業のきっかけとなった商品です。



### 国産第1号テレビの量産

必ず一家に1台の時代が来ると確信し、日本の家屋にピッタリな14型を中心に量産を進め、このサイズが長く業界の主流になりました。



### 太陽電池を量産

「空には無限のエネルギーがあるのだからこれを利用しない手はない」との思いから開発しました。



関東大震災ですべてを失いますが、大阪(現在の本社所在地)で再起を図り、金属文具の付属品などの製造から再スタートしました。



### 国産第1号鉱石ラジオ受信機

日本のラジオ放送開始を前に、輸入ラジオに会い、手探りで研究を始め、ラジオ受信機の組立に成功しました。

詳しくは、100周年記念サイト <http://www.sharp.co.jp/100th/> をご覧ください。

よく使う冷蔵庫を上にしたワークトップ冷蔵庫(1976年)

センサーオープンレンジ(1979年)

レコード両面自動演奏ステレオ(1981年)

パソコンテレビ(1982年)

3型液晶カラーテレビ(1987年)

電子システム手帳(1987年)

左右開き冷蔵庫(1989年)

液晶ビデオカメラ「液晶ビューカム」(1992年)

新携帯情報ツール液晶ペンコム「ザウルス」(1993年)

裏番組も同時に見られる1ブラウン管2画面のテレビ・イン・テレビ(1978年)

フロントローディング式ビデオ(1979年)

ステレオダブルカセットレコーダー(1979年)

ポケット電訳機(1979年)

日本語ワープロ「書院」(1979年)

モバイルカメラ付き携帯電話(2000年)

プラズマクラスター空気清浄機(2000年)

21世紀の液晶テレビ「アクオス」(2001年)

ウォーターオープン「ヘルシオ」(2004年)

LEDシーリングライト「エルム」(2010年)

4原色3D液晶テレビ「アクオスクアトロン3D」(2010年)

酸化物半導体(IGZO)採用の「液晶パネル」生産開始(2012年)

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 資産の部 |           | 負債の部        |           |
|------|-----------|-------------|-----------|
| 流動資産 | 1,421,125 | 流動負債        | 1,391,080 |
| 固定資産 | 1,190,896 | 固定負債        | 577,935   |
| 繰延資産 | 2,114     | 負債合計        | 1,969,015 |
|      |           | 純資産の部       |           |
|      |           | 株主資本        | 719,265   |
|      |           | その他の包括利益累計額 | △ 93,371  |
|      |           | 少数株主持分      | 19,226    |
|      |           | 純資産合計       | 645,120   |
| 資産合計 | 2,614,135 | 負債純資産合計     | 2,614,135 |

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | △ 143,302 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 159,557 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 256,381   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | △ 1,080   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | △ 47,558  |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 241,110   |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 220       |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 193,772   |

## 連結損益計算書の要旨

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

|                |           |
|----------------|-----------|
| 売上高            | 2,455,850 |
| 売上原価           | 2,043,842 |
| 売上総利益          | 412,008   |
| 販売費及び一般管理費     | 449,560   |
| 営業損失           | 37,552    |
| 営業外収益          | 23,495    |
| 営業外費用          | 51,380    |
| 経常損失           | 65,437    |
| 特別利益           | 12,968    |
| 特別損失           | 185,960   |
| 税金等調整前当期純損失    | 238,429   |
| 法人税等           | 135,140   |
| 少数株主損益調整前当期純損失 | 373,569   |
| 少数株主利益         | 2,507     |
| 当期純損失          | 376,076   |

(注) 連結子会社数 78社 持分法適用会社数 23社

(記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。)

# 役員

## 役員 (平成24年6月26日現在)

### 取締役及び監査役

|       |        |
|-------|--------|
| 取締役会長 | 片山 幹雄  |
| 代表取締役 | 奥田 隆司  |
| 取締役社長 | 奥田 隆司  |
| 代表取締役 | 水嶋 繁光  |
| 代表取締役 | 高橋 興三  |
| 取締役   | 菅野 信行  |
| 取締役   | 中山 藤一  |
| 取締役   | 藤本 俊彦  |
| 取締役   | 庵 和孝   |
| 取締役   | 大西 徹夫  |
| 取締役   | 谷口 信之  |
| 取締役   | 伊藤 邦雄  |
| 取締役   | 加藤 誠   |
| 常勤監査役 | 上田 準三  |
| 常勤監査役 | 平山 信次  |
| 監査役   | 夏住 要一郎 |
| 監査役   | 奥村 萬壽雄 |

(注) 伊藤邦雄、加藤 誠の両氏は社外取締役です。また、平山信次、夏住要一郎、奥村萬壽雄の3氏は社外監査役です。

### 執行役員

|         |        |      |           |
|---------|--------|------|-----------|
| 社長      | 奥田 隆司  | 執行役員 | 寺川 雅嗣     |
| 副社長執行役員 | 水嶋 繁光  | 執行役員 | 谷口 信之     |
| 副社長執行役員 | 高橋 興三  | 執行役員 | 村松 哲郎     |
| 専務執行役員  | 菅野 信行  | 執行役員 | 後藤 和年     |
| 専務執行役員  | 中山 藤一  | 執行役員 | 方志 教和     |
| 常務執行役員  | 廣部 俊彦  | 執行役員 | 岡田 圭子     |
| 常務執行役員  | 長谷川 祥典 | 執行役員 | 毛利 雅之     |
| 常務執行役員  | 岡田 守行  | 執行役員 | 江川 龍太郎    |
| 常務執行役員  | 林 元日古  | 執行役員 | 山澤 登      |
| 常務執行役員  | 藤本 登   | 執行役員 | 向井 和司     |
| 常務執行役員  | 藤本 俊彦  | 執行役員 | 森本 弘      |
| 常務執行役員  | 庵 和孝   | 執行役員 | 新 晶       |
| 執行役員    | 大西 徹夫  | 執行役員 | ポール・モレニュー |
| 執行役員    | 野村 勝明  | 執行役員 | 種谷 元隆     |
| 執行役員    | 大島 昌巳  | 執行役員 | 大澤 敏志     |

# 株式の状況・株価の推移

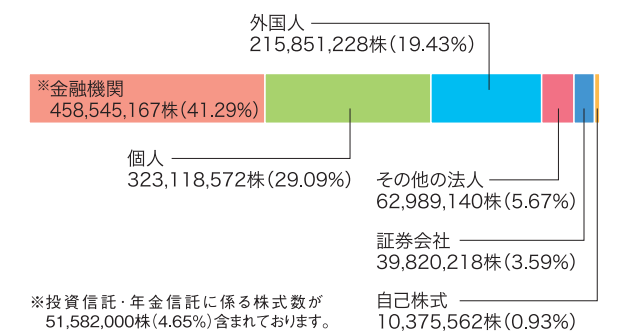
## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行済株式の総数 1,110,699,887株  
株主数 139,077名  
大株主

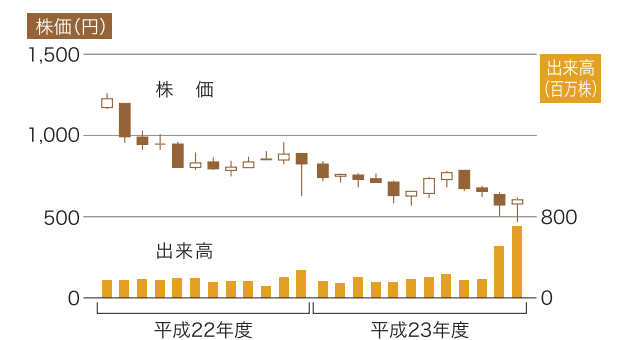
| 株主名                                      | 所有株式数(株)   | 持株比率(%) |
|--|------------|---------|
| 日本生命保険相互会社                               | 55,667,384 | 5.01    |
| 明治安田生命保険相互会社                             | 45,781,000 | 4.12    |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                          | 41,910,469 | 3.77    |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                            | 41,678,116 | 3.75    |
| 三井住友海上火災保険株式会社                           | 30,658,022 | 2.76    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                | 28,405,000 | 2.56    |
| シャープ従業員持株会                               | 25,450,265 | 2.29    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                  | 23,272,000 | 2.10    |
| SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS | 22,023,900 | 1.98    |
| 株式会社損害保険ジャパン                             | 21,496,000 | 1.94    |

(注) 1. 持株比率は、上記発行済株式の総数(自己株式10,375,562株を含む)により算出しております。  
2. 株式会社みずほコーポレート銀行には、上記以外に退職給付信託に係る信託財産として設定した株式が4,770,000株あります。

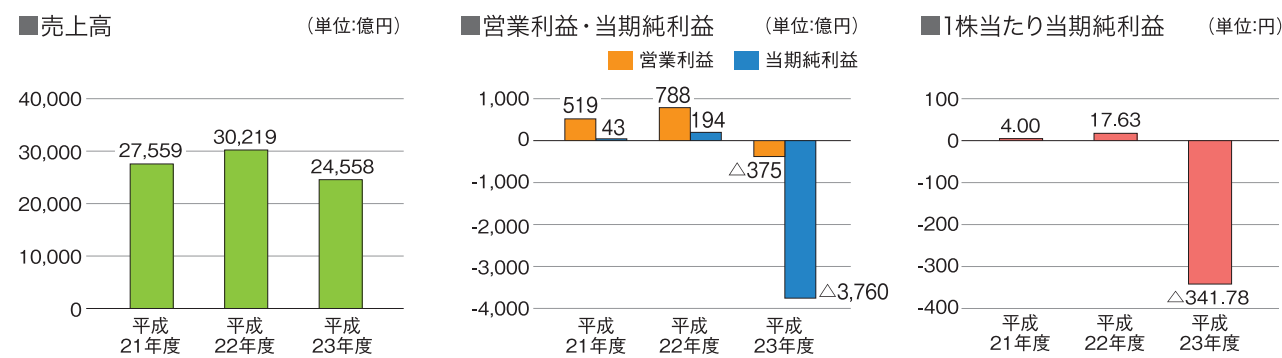
## 所有者別分布状況 (発行済株式の総数に対する割合)



## 株価の推移



## 連結業績ハイライト



## WEBサイトのご紹介

当社ホームページで、本報告書のほか、  
アニュアルレポートや決算情報等が  
ご覧いただけます。

<http://www.sharp.co.jp/corporate/ir/>



## 会社の概要

社名 シャープ株式会社  
SHARP CORPORATION

所在地 [本社]  
〒545-8522  
大阪市阿倍野区長池町22番22号  
電話(06)6621-1221(大代表)

[東京支社]  
〒261-8520  
千葉市美浜区中瀬一丁目9番地の2  
電話(043)297-1221(大代表)

創業 大正元年9月15日

資本金 2,046億7,551万8,238円  
(平成24年3月31日現在)

従業員数 21,538名  
(平成24年3月31日現在)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.sharp.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 ・定時株主総会 毎年3月31日  
・剰余金の配当(期末) 毎年3月31日  
(中間) 毎年9月30日  
・そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告(下記ホームページに掲載)  
<http://www.sharp.co.jp/koukoku/>  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京、大阪、名古屋、福岡、札幌

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0057 大阪市北区曾根崎二丁目11番16号  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

## 株式に関するお手続きについて

株式を証券会社等の口座でお持ちの場合とお持ちでない場合とで、お申し出先が異なりますので、ご注意ください。

| お手続き内容  | 証券会社等の口座でお持ちの場合   | 証券会社等の口座でお持ちでない場合<br>(特別口座に記録されている場合)   |
|---|---|---|
| ○株式の口座振替<br>○株式の相続手続き<br>○単元未満株式の買取・買増請求<br>○配当金受取方法の指定又は変更<br>○住所変更<br>等 | お取引の証券会社等になります。   | [お問い合わせ先/郵送物送付先]<br>〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行 証券代行部<br>電話 0120-288-324(フリーダイヤル)<br>(土・日・祝日を除く9:00~17:00) |
| ○配当金支払明細書の発行<br>○所有株式数証明書の発行<br>○株式異動証明書の発行                               | みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>電話 0120-288-324(フリーダイヤル)(土・日・祝日を除く9:00~17:00)<br>みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 | みずほ信託銀行 本店及び全国各支店<br>みずほインベスターズ証券<br>本店及び全国各支店<br>プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)   |
| ○未払配当金のお支払  | みずほ信託銀行 証券代行部<br>みずほ信託銀行 本店及び全国各支店<br>みずほ銀行 本店及び全国各支店<br>みずほインベスターズ証券 本店及び全国各支店(取次のみ)                         |   |

## 株主様工場見学会について

株主様工場見学会につきましては、この報告書にて募集のご案内をさせていただき予定にしておりましたが、第118期業績からの早期回復を期して、全社を挙げて取り組んでいることから、実施を当面見合わせることにいたしました。

ご期待いただいております株主様には大変申し訳ございませんが、何卒ご了承ください。